

熊本駅周辺地域の将来ビジョン

将来像 出会いとふれ合いの副都心

まちづくりの理念

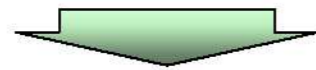
- 出会いとふれ合いのあるまちづくり
- 人にやさしく利便性の高いまちづくり
- 水と緑の自然や歴史性を活かしたまちづくり

まちづくりのテーマ

人・文化・自然と出会う くまもと・交流舞台

～パークステーション～

- ★ 地区全体が『森の都』を感じさせる空間を演出し、人々に『癒し』を提供
- ★ 地区の個性や魅力を活かし、多くの人々を惹きつける空間づくり



期待される役割

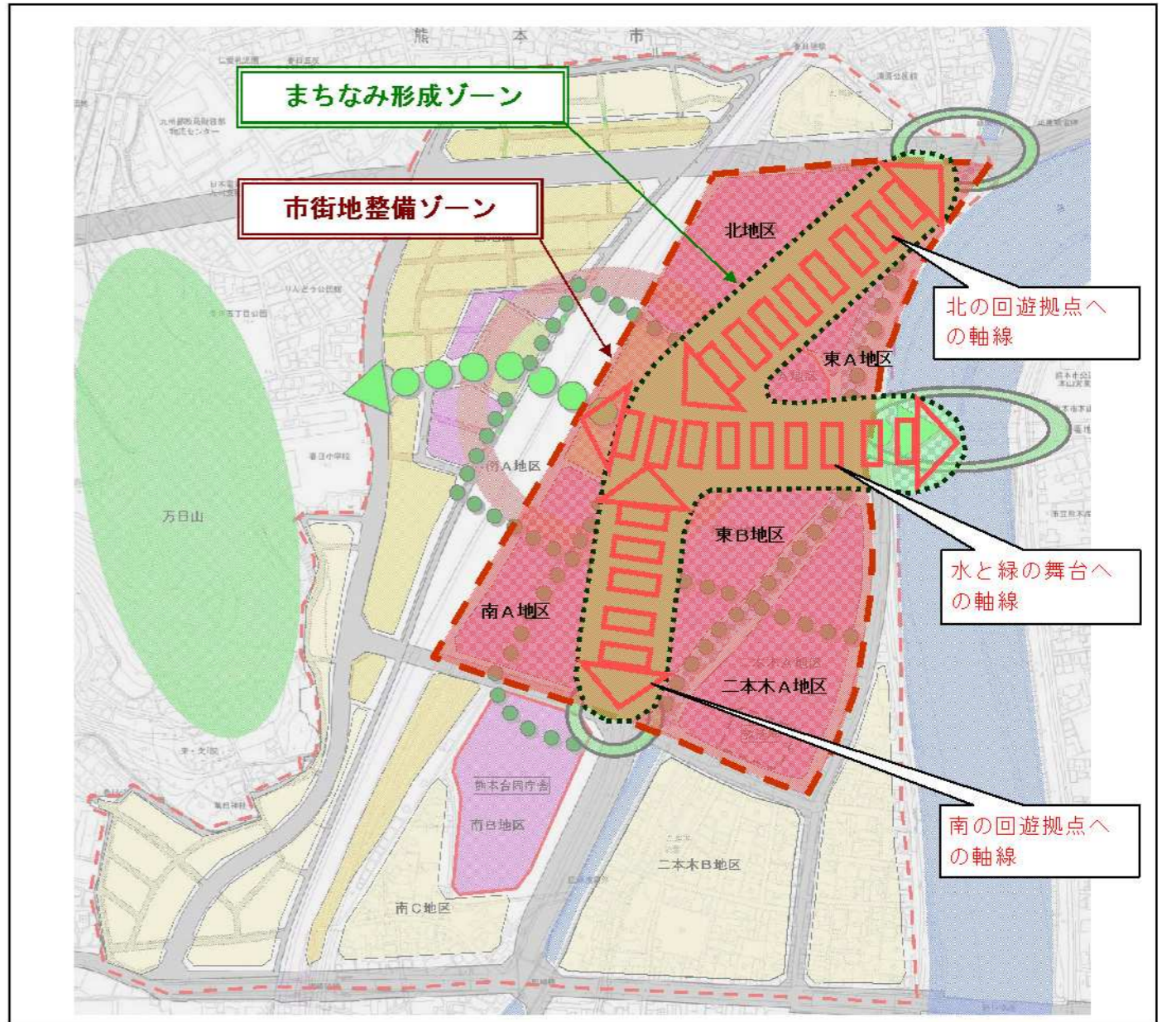
- 九州・熊本の情報発信の場……… 広域交通結節点をいかして、産業・観光・教育・文化等の情報を発信する場を形成
- 新しい都市生活を創造する場……… これまで育まれてきた生活環境と調和のとれた、生活利便性及び自然の豊かさ・空間のゆとりをいかした住宅地を形成
- 人々が交流し情報発信する拠点……… 多種多様な情報や交流の中心的役割を果たす活動拠点の形成
- 水・緑・歴史と出会う場……… 白川・坪井川や万日山・花岡山の水・緑の魅力を街なか引き込む空間としてアメニティ軸を形成
熊本の歴史をアピールする場
- 人にやさしいまちづくり……… 交流拠点の基本的事項として、人にやさしいまちづくりの実施

まちづくりの方向性



市街地整備の基本方針

- まちなみ形成軸周辺を『まちなみ形成ゾーン』と位置づけ、沿道は熊本駅周辺にふさわしいまちなみや人に優しいアメニティ空間を形成するために、民間開発等に合わせた壁面後退等により、公共空間の創出やまちなみ景観形成を誘導します。
- まちなみ形成ゾーンを含む北地区・南A地区・東A地区・東B地区・二本木A地区を『市街地整備ゾーン』と位置づけ、民間開発や個別建て替え等に伴い、良好なまちなみを形成するとともに、地区施設等の整備を進めます。



《基本的方針》

- ・ 幹線道路沿道等において壁面の位置の制限を設定し、ゆとりある歩行者空間の形成を図る。
- ・ 県都の玄関口として魅力ある良好な都市景観を形成するため、建築物の意匠の制限を設定する。
- ・ 建築物の用途の制限により、良好な市街地環境の形成を図る。
- ・ 駅周辺においては、県都の玄関口として効率的な建築物整備の誘導を図るため、容積率の緩和を行う。
- ・ 各地区ごとの土地利用方針を実現し、土地の有効活用の促進を図るため、地区施設の配置を行う。